

m.

That's Mine. It's Mine

GEO協議会だより

編集・発行：Mine 秋吉台ジオパーク推進協議会事務局

NEW

秋芳名水特産品直売所の中に、マス料理のお店がオープンしました！！

場所：別府弁天池駐車場横 ※日曜日のみ営業

「BoulangerieKura」のパンを使ったバーガー↓



↑バジルとの相性が抜群のマススティック

別府弁天池の湧水を利用して育てられたマスをおいしく調理。地域のお母さんたちが活躍しています↓



ご来店、おまちしています★

Karstar News 新商品情報

夏向けのカフェメニューも充実！！
ぜひカルスターに！

お野菜も産地直送です



ジビエソーセージ
ホットドッグ

¥350

美祿産米

塩キャラメルおこし



こだわりパッケージ

¥540

おさんぽサコッシュ



オリジナル

¥2,500

地質情報展 2019 やまぐち めくってみよう！ 大地の図かん

9月21日(土), 22日(日), 23日(祝) 入場無料

山口大学にて「日本地質学会第126年学術大会」が開催されます。9/21～26の期間中に日本の地質学者が一同に会する、年に一度の学術イベントです。

その中で特別展『地質情報展 めくってみよう！大地の図かん』が吉田キャンパスの大学会館にて開催されます。学ぶ！体験する！をテーマに、様々な実験や実演を通じて地質を学ぶことができます。小学校入学前のお子様から大人まで一緒に楽しめるイベントです。申込不要ですのでぜひ足を運んでみてください！



←地質情報展HP



←日本地質学会HP

こちらもおススメ

市民講演会：「防府土砂災害から10年～災害を経験して次に生かす～」

9月22日(日)13:00～14:30 山口大学 大学会館 大ホール (無料、申込不要)

Geoguide Column

げなげなジオ話⑪

認定ジオガイド 梶崎知行

美祢市大嶺町のジオサイト桃ノ木露天掘り跡は、高校の地学の教科書に写真が載っているげな。

1960年代、大嶺炭田の最末期に数か所で露天掘りの採炭が行われた。露天掘りでは、炭層を挟む岩層も「大規模に」掘り返すので、無煙炭ができた頃（2億3000万年前）の化石がたくさん出てくる。この頃の化石は日本には少ない上、故・岡藤五郎先生が超大型の植物化石を発掘されたので、教科書に登場したというわけだ（美祢市歴史民俗資料館に収蔵されている）。

教科書に載っているジオサイト

露天掘りが終わって50年。すでに石炭を運びだした道路もふさがり、今は上桃ノ木の公会堂裏から小山を越える竹が倒れかかった山道しかない（筆者は下見の際に道を間違えてしまった）。化石が出土する可能性が高く、地層の成り立ちも観察できる「巨大な断層」は木々に埋もれてしまいつつあった。

ところがこの露天掘り跡地がこのほど、持ち主の宇部興産（株）から美祢市に寄附された。市はユネスコ世界ジオパーク認定に向けて、ジオサイトとして周遊できるように支障立木伐採等の周辺整備に着手したとか。

また、桃ノ木にほど近い奥畑の露天掘り跡は、美祢市化石採集場として長く親しまれてきた。この場所からは、哺乳類の祖先に近い単弓類で、世界的に繁栄したディキノドン類という四足の動物の化石が発掘された。この時期（後期三畳紀）のディキノドン類は東アジアでは初めて。日本では、ディキノドン類そのものが初めてという大発見だから、現在も研究が続けられている。これが論文にまとまり発表されると、ここの写真が教科書に載るかもしれないげな。



露天掘りで現れた2億3000万年前の地層



ディキノドン 『大むかしの生物』(小学館の図鑑)より

台湾地質公園国際シンポジウム-その1-

「2019年台湾地質公園国際シンポジウム」に参加し、Mine秋吉台ジオパークの代表として「Mine秋吉台ジオパークとドリーネ畑耕作」と題した発表を行いました。また、野柳地質公園内にブースを設けてMine秋吉台ジオパークのPR活動を行いました。台湾の地質公園を巡検するツアーにも参加し、台湾の成り立ちを学びました。参加した各イベントの様子を数回に分けて紹介します。

認定ジオガイド 吉松三男



分科会での発表の様子 (会場：台湾大学)

初めてのジオガイド

初めて行ったジオガイドツアーは、愛媛県から来た修学旅行生だった。簡単に大地の成り立ちを説明した後、若竹山まで行き、返事のない山彦との会話を楽しんでいた。

カルスターまで戻り、緑地公園にてフリスビーを使ったゲームをした。定められたルールにとらわれず、新しい遊びを楽しむ姿に、彼らの未来を垣間見た。

今はただ、この景色と風を忘れないでほしい。



認定ジオガイド 山田富郎

